

フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を「わちあい」・「ありがとう」へ



44号

基本情報 2022年度の累計 (2021年度寄贈287ト提供270ト)

寄贈 70.7ト 前年同月比160% 提供 80.9ト 前年同月比153%

6月

寄贈食品計	30.4ト	提供食品計	301回	28.1ト
企業・生協等	23.6ト	行政・社協	71回	5.0ト
フードドライブ	5.0ト	地域フードバンク	74回	8.4ト
寄付金購入	1.8ト	こども食堂等	127回	13.0ト
		施設・福祉・外国関連	29回	1.7ト

紙幅に限りがあり、
敬称略で報告します。

合意書締結団体

寄贈締結団体 231団体
提供締結団体 293団体
行政・社協 59団体
市民団体 234団体
(子ども食堂・居場所・
施設・福祉関係)
食品回収拠点約307か所

賛助会員寄付状況

団体会員207団体 657口
657万円
個人会員 291人 1,467口
1,467千円
寄付
2022年 10,187,450円
累計 64,122,313円

寄 贈 (入庫)

今月から山崎製パン(株)より毎日100個のパン寄贈開始。小田急電鉄(株)、湘南ユニテッド(株)等防災備蓄寄贈。米一合の寄贈は多様な団体で継続。赤い羽根助成と寄付金から不足する調味料、缶詰類、菓子類を購入。

○事業者寄贈

京都府より酒米5.5ト、日本食研より鍋スープ、東京アライドコーヒ-0.6ト、山崎製パン0.4ト、ユーコープ1.3ト、ミツハシ0.6ト、サンフーズ

○防災備蓄品

小田急電鉄6.5ト、湘南ユニテック2.6ト、横浜市2.2ト、日本精工1.3ト、JA厚生連0.15ト、西湘労福協(スタンレー電気労組)0.13ト

○フードドライブ 77回 5ト

パルシステムセンター0.2ト

○米一合運動/プロジェクト

戸塚地区連合・戸塚支部労福協0.3ト、かながわボランティア連合0.2ト、三浦半島労福協0.12ト、湘南労福協0.14ト

提 供 (出庫)

提供数、団体、回数ともに増加。活動団体増。京都府寄贈の5.5トの米は1週間で配布しきった。米やレトルトのニーズが高い。

○行政・社協・委託 32団体

横浜市ばくサバ2.1ト、相模原市0.7ト、川崎市・社協0.36ト、海老名市0.26ト

○地域のフードバンク 35団体

くろーばー0.85ト、浜っ子南0.7ト、お福分け0.64ト、川崎医療生協0.5ト、さろんど0.5ト、さくらの森0.4ト、FBふじさわ0.4ト、カナン教会0.4ト

○こども食堂居場所等 83団体

ひまわり0.5ト、アフリカヘリテイジ0.5ト、アスリッド03ト

○福祉・病院・外国関係 16団体

ブラジルsolidario横浜0.55ト、リウの家0.2ト、カラー就労B型0.2ト



メッセージ

逗子市発 米一合運動 コラボ報告



まさに地域密着のスーパーマーケットならではの

スズキヤ逗子駅前店店長 久保 稔 様

東日本大震災に始まり、異常気象やコロナウイルスのまん延など、この数年で周りを取り巻く環境は大きく変化しました。そんな中でスーパーマーケットとして何ができるかと考えると、一番身近なライフラインとして地域に貢献する事が大切だと思いました。

SGDsを掲げ、フェアトレードや脱プラスチック、環境保護などが叫ばれる中、スズキヤは子供食堂などに寄付をしたり、様々なボランティア活動に取り組んできました。

今年は、社会福祉協議会様と手を取り合いフードバンクなどを計画している中で、今回のかながわ学生ボランティア連合との『お米一合運動』のお話をいただきました。

店頭でポスターでの告知や店内放送で盛り上げ、当日を迎えました。ご自宅からお買物のついでに、お米を持って来て下さるお客様やその場でお米を買って、寄付して下さるお客様もいました。まさに、スーパーマーケットというスポットならではの感じました。

一人一人では大きな事は出来ませんが、力を集めて今後も定期的に『お米一合運動』を開催し、地域に少しでも役立てていきたいと思っています。

初のスーパーとのコラボが成功

かながわ学生ボランティア連合代表 菅原瑞菜 様

6月5日(日)に、スズキヤ逗子駅前店さんでお米一合運動を行いました。約160kgのお米のご寄付を頂きました。スーパーで実施することは、初めての試みでしたが、沢山の米が集まりました。このボランティアの必要性がまだまだあるなと思いました。

6/11(土)・12(日)にずしグリーンライフフェスというイベントでもお米一合運動を行い約60kgのお米が集まりました。これを踏まえ、様々な場所でお米一合運動を行える可能性を感じました。

このような機会を与えて下さったスズキヤの皆様、ご協力してくださった地域住民の皆様、改めましてありがとうございます。

第5回 通常総会を開催し、2021年度決算および理事4名監事1名選任が決議された。

○印新任

◇代表理事

當具 伸一 (神奈川県生活協同組合連合会代表理事会長、生活協同組合ユーコープ代表理事理事長)

吉坂 義正 (日本労働組合総連合会神奈川県連合会会長、神奈川県労働者福祉協議会会長)

◇常務理事 (業務執行理事)

半澤 彰浩 (生活クラブ生活協同組合専務理事)

渡邊たかし (生活協同組合パルシステム神奈川専務理事)

◇理 事

○石川 晴美 (公益財団法人横浜YMCA本部事務局開発チーフディレクター)

市川 敏行 (神奈川県労働者福祉協議会事務局長)

大石 高久 (公益財団法人かながわ生き生き市民基金専務理事)

○櫻井 展子 (生活協同組合ユーコープ執行役員・かながわ県本部長)

○四條 信仁 (神奈川県農業協同組合中央会専務理事)

篠崎みさ子 (生活クラブ生活協同組合理事長)

鈴木 紀子 (生活協同組合パルシステム神奈川常任理事)

高橋 英樹 (中央労働金庫神奈川本部営業担当部長)

田中 知巳 (生活協同組合ユーコープ執行役員・参加と連携推進本部長)

庭野 文雄 (神奈川県生活協同組合連合会代表理事専務)

○秋原 周子 (日本労働組合総連合会神奈川県連合会副事務局長)

◇監 事

○数寄 真人 (特定非営利活動法人参加型システム研究所理事・所長)

塩崎 輝幸 (こくみん共済COOP神奈川推進本部事業推進本部長)

6月のフードバンク

6月23日第5回通常総会が無事終了。2021年度は寄贈量287トン(前年比137%) 提供量270トン(同139%)。2022年4月からは限定的ながら、冷凍食品や日配のパンも取り扱っています。22年の第4半期、入出庫とも前年同月比150%超。食品棚は隙間が見えることもあります。コロナ禍に、物価上昇も加わり、生活が苦しい世帯が確実に増加していることを、食支援の現場からも感じる日々です。



2021年
年次報告

2022年6月23日 第5回通常総会

【総会後の活動報告】



富具共同代表、吉坂共同代表



ブラジルsoridario横浜齋藤理事長



ブラジルsoridario横浜へ提供



サンフーズ(株)より冷凍イチゴ寄贈



かながわ労働プラザ



横須賀市福祉専門官北見万幸さん
(パルシステム藤田理事長・鈴木常任理事)



栄区役所のフードドライブ



西湘労協災害備蓄品



東京アライドコーヒー(株)の寄贈



ユウコーパ川崎2エリア会米一合プロジェクト



旭化成労組川崎支部寄贈と体験研修



コカ・コーラボトラーズジャパン(株) 2400本飲料



京都府より酒米5.5トン寄贈



JA横浜たすけ愛チームボランティア



小田急電鉄(株)防災備蓄品6トン寄贈



相模原労協・厚木愛甲地域連合・東芝労組



赤い羽根共同募金助成で
不足食品を購入



冷凍庫寄贈のフクシマガリレイ
(株)社員の体験研修



三浦半島労協メーデーと米一合運動



スマイルオブキッズ(リラの家)
山崎製パン(株)よりのパンで笑顔



フードバンクかな
がわホームページ

スライド 2

A2 作成者, 2021/11/03